

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（1998年7月31日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、高水準かつ安定的なインカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	EU加盟国の信用度の高い（A格以上）公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EU加盟諸国の信用度の高い公社債に投資を行います。</li> <li>・ソブリン債券を中心とした公社債からの長期的に安定した利子収入の確保とともに、信託財産の成長を目指します。</li> </ul>	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マザーファンドへの投資は、制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への実質投資は、制限を設けません。</li> </ul>
	マザーファンド	外貨建資産への投資は、制限を設けません。
分配方針	毎年1, 3, 5, 7, 9, 11月の5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### ユーロ・ソブリン・オープン



第122期（決算日：2019年1月7日）  
 第123期（決算日：2019年3月5日）  
 第124期（決算日：2019年5月7日）



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「ユーロ・ソブリン・オープン」は、去る5月7日に第124期の決算を行いましたので、法令に基づいて第122期～第124期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近15期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE 欧州世界国債インデックス (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額		
	(分配落)	税 分 配	込 み 金	期 騰 落	中 率					
	円	円	円	騰 落	中 率	%	%	百万円		
110期(2017年1月5日)	6,491		50		5.1	607.19	6.2	97.0	—	1,664
111期(2017年3月6日)	6,314		50		△2.0	594.55	△2.1	96.4	—	1,612
112期(2017年5月8日)	6,448		50		2.9	612.50	3.0	97.4	—	1,631
113期(2017年7月5日)	6,570		50		2.7	631.96	3.2	97.6	—	1,619
114期(2017年9月5日)	6,669		50		2.3	645.17	2.1	97.6	—	1,630
115期(2017年11月6日)	6,734		50		1.7	661.53	2.5	96.9	—	1,611
116期(2018年1月5日)	6,854		50		2.5	676.29	2.2	97.6	—	1,624
117期(2018年3月5日)	6,438		50		△5.3	642.91	△4.9	97.2	—	1,525
118期(2018年5月7日)	6,421		50		0.5	651.77	1.4	96.8	—	1,518
119期(2018年7月5日)	6,311		50		△0.9	644.39	△1.1	97.3	—	1,482
120期(2018年9月5日)	6,218		50		△0.7	637.27	△1.1	97.1	—	1,451
121期(2018年11月5日)	6,135		50		△0.5	636.17	△0.2	96.6	—	1,427
122期(2019年1月7日)	5,874		50		△3.4	616.55	△3.1	96.9	—	1,356
123期(2019年3月5日)	6,056		50		3.9	641.91	4.1	97.0	—	1,393
124期(2019年5月7日)	5,981		30		△0.7	639.71	△0.3	96.9	—	1,361

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) FTSE 欧州世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、欧州主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額比率で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		F T S E 欧州世界国債 インデックス (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第122期	(期 首) 2018年11月5日	円 6,135	% —	636.17	% —	% 96.6	% —
	11月末	6,146	0.2	638.83	0.4	96.8	—
	12月末	6,070	△1.1	631.69	△0.7	95.8	—
	(期 末) 2019年1月7日	5,924	△3.4	616.55	△3.1	96.9	—
第123期	(期 首) 2019年1月7日	5,874	—	616.55	—	96.9	—
	1月末	6,010	2.3	634.38	2.9	97.3	—
	2月末	6,081	3.5	639.95	3.8	96.1	—
	(期 末) 2019年3月5日	6,106	3.9	641.91	4.1	97.0	—
第124期	(期 首) 2019年3月5日	6,056	—	641.91	—	97.0	—
	3月末	6,073	0.3	642.41	0.1	97.1	—
	4月末	6,019	△0.6	638.21	△0.6	96.3	—
	(期 末) 2019年5月7日	6,011	△0.7	639.71	△0.3	96.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

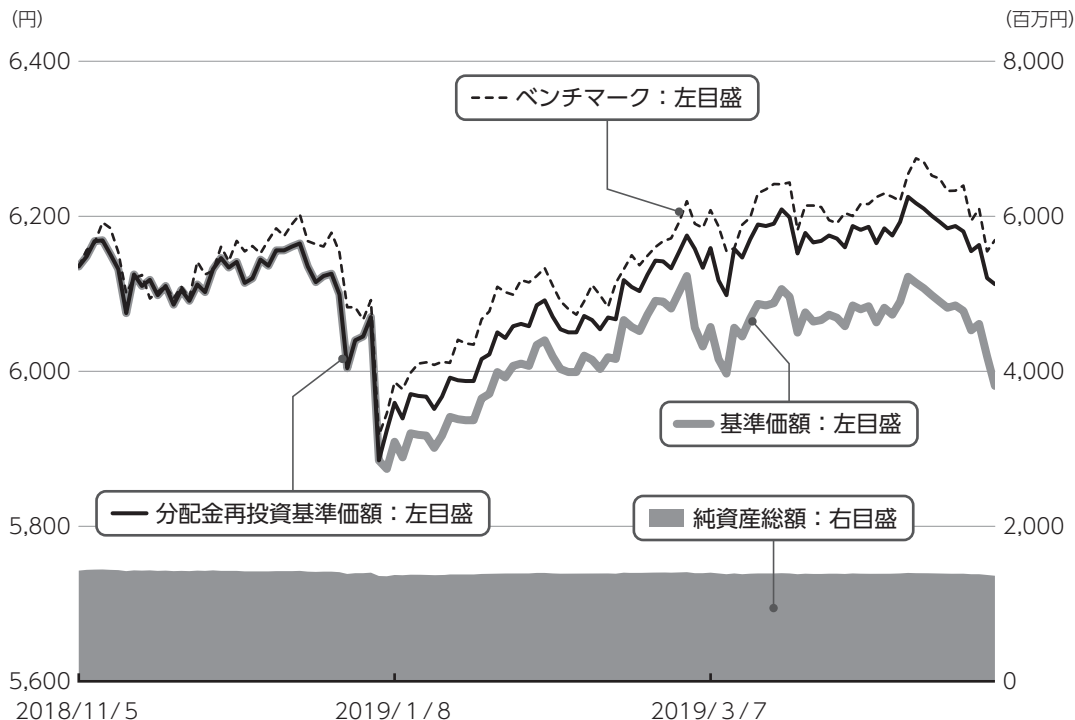
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第122期～第124期：2018年11月6日～2019年5月7日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第122期首	6,135円
第124期末	5,981円
既払分配金	130円
騰落率	-0.4%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は当作成期首に比べ0.4%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

**ベンチマークとの差異**

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（0.4%）を0.8%下回りました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

ドイツやイギリスなどの金利が低下したことや、債券の利子収入を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

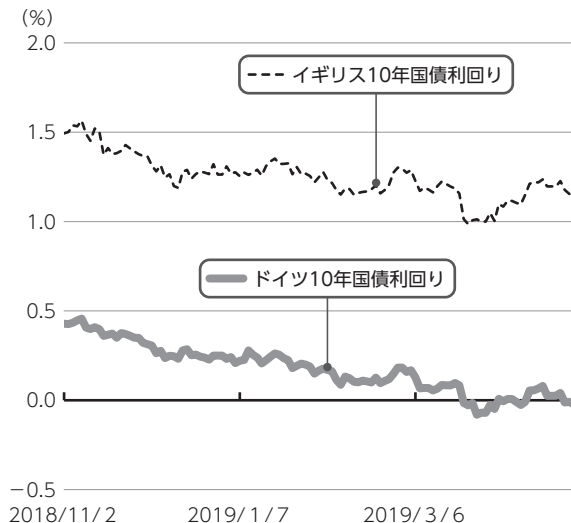
**下落要因**

ユーロや英ポンドが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第122期～第124期：2018年11月6日～2019年5月7日

## 投資環境について

### 利回りの推移



(注) 現地日付ベースで記載しております。

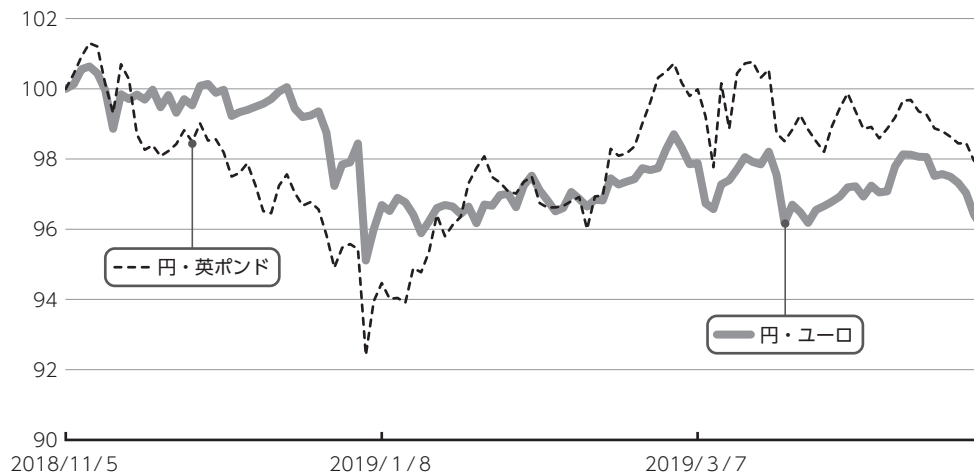
### ▶ 欧州債券市況

ドイツやイギリスの長期金利は低下しました。

ドイツやイギリスの長期金利は、欧州における景気減速懸念や、英国の欧州連合（EU）離脱を巡る不透明感の高まり、株式・原油市況の下落に伴う市場のインフレ期待の低下などを背景に、低下して始まりました。

その後、2019年1月以降は、欧州中央銀行（ECB）が1月に開催した理事会で、ユーロ圏の経済成長に対するリスクが下向きに移行したとの認識を表明し、また、3月に開催した理事会で、主要政策金利の据え置き期間を従来の「少なくとも2019年夏まで」から「少なくとも2019年末まで」に修正したことなどを背景に、ドイツやイギリスの長期金利は低下幅を拡大しました。

## 為替市況の推移 (当作成期首を100として指数化、対円)



### ▶ 為替市況

ユーロや英ポンドは対円で下落しました。ユーロや英ポンドは、2018年12月に、株式市場の下落などにより投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどを受けて、対円で下落しました。

その後、ユーロは、当作成期末にかけて対円で概ねもみ合いで推移し、結果、当作成期を通じてみると、対円で下落して終わりました。一方、英ポンドは、イギリスのEU離脱を巡り、2019年3月末とされていた離脱期限延期への期待感や、EUと将来関係に関する合意なしでの離脱が回避されるとの見方が広がったことなどを背景に、対円で上昇する局面もあったものの、当作成期を通じてみると対円で下落して終わりました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ ユーロ・ソブリン・オープン

ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ちました。

### ▶ ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド

基準価額は当作成期首に比べ0.2%の上昇となりました。

E U加盟国の国債・政府保証債、事業債等、信用度の高い公社債（A格以上）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。

### 国別資産配分

作成期を通じて、相対的に高い金利水準にあるポーランドや、ファンダメンタルズが堅調なスペインなどをベンチマーク比オーバーウェイトで維持した一方、ドイツなどを同アンダーウェイトで維持しました。

### デュレーション（金利感応度）

ファンド全体のデュレーションは、作成期を通じてベンチマーク比中立としました。

※デュレーション

「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

### 為替取引

作成期首は、景気の底堅い推移が見込まれることなどから、4.1%程度のユーロ及び0.7%程度のノルウェークローネ買い、E U離脱を巡る不透明感などから1.0%程度の英ポンド売り、3.9%程度のポーランドズロチ売りとしました。

作成期末は、良好な景気・インフレ動向等を背景とした1.5%程度のノルウェークローネ買いのほか、1.2%程度のユーロ及び0.5%程度の英ポンド買いとした一方、3.2%程度のポーランドズロチ売りとしました。

### 信用格付

信用度の高いA格以上の公社債を主要投資対象としています。

前記の運用を行った結果、ユーロや英ポンドが対円で下落したことなどがマイナスに影響したものの、ドイツやイギリスなどの金利が低下したことや、債券の利子収入を享受したことなどがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。



## (ご参考)

## ■ポートフォリオの状況

作成期首 (2018年11月5日)

	マザーファンド	ベンチマーク
平均終利	0.84%	—
平均直利	1.94%	—
デュレーション	8.5	8.3

作成期末 (2019年5月7日)

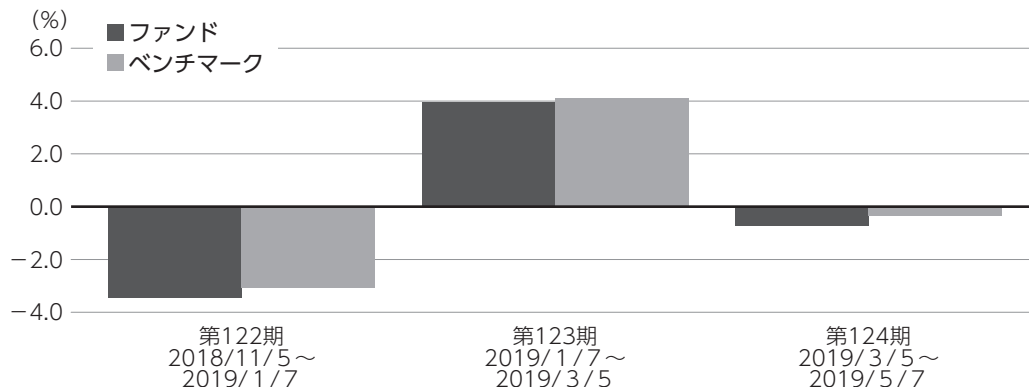
	マザーファンド	ベンチマーク
平均終利	0.52%	—
平均直利	1.68%	—
デュレーション	8.7	8.5

- ・平均終利（複利最終利回り）とは、償還日までの利子とその再投資収益および償還差損益も考慮した利回り（年率）をいいます。
- ・平均直利（直接利回り）とは、利子収入部分にのみ着目した利回り。債券価格に対する利子の割合（年率）をいいます。

第122期～第124期：2018/11/6～2019/5/7

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### 基準価額（当ファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

### ▶ ユーロ・ソブリン・オープン

基準価額は当作成期首に比べ、0.4%（分配金再投資ベース）の下落となり、ベンチマークであるF T S E 欧州世界国債インデックス（円ベース）の騰落率（0.4%）を0.8%下回りました。

### ▶ ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド

基準価額は当作成期首に比べ、0.2%の上昇となり、ベンチマークであるF T S E 欧州世界国債インデックス（円ベース）の騰落率（0.4%）を0.2%下回りました。

作成期を通じてみると、スペイン国債のドイツ国債に対する金利スプレッド（利回り格差）が縮小したなか、作成期を通じてスペインをベンチマーク比オーバーウェイトとしたことなどがプラスに寄与しました。

作成期を通じてみると、イタリア国債のドイツ国債に対する金利スプレッドが縮小したなか、作成期を通じてイタリアを非保有としたことなどがマイナスに影響しました。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第122期 2018年11月6日～ 2019年1月7日	第123期 2019年1月8日～ 2019年3月5日	第124期 2019年3月6日～ 2019年5月7日
当期分配金（対基準価額比率）	<b>50</b> (0.844%)	<b>50</b> (0.819%)	<b>30</b> (0.499%)
当期の収益	7	16	5
当期の収益以外	42	33	24
翌期繰越分配対象額	785	751	726

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

# 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

## ▶ ユーロ・ソブリン・オープン

### 今後の運用方針

引き続き、ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象として運用を行います。マザーファンドの組入比率を高位に保つ方針です。

## ▶ ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド

### 運用環境の見通し

当面の欧州長期金利は、低位で推移する展開が想定されます。ユーロ圏経済は、製造業を中心に低調な状況が継続しており、グローバルな景気減速懸念等も重石となり、域内経済見通しの下方修正懸念や、インフレ圧力の抑制された状況が継続する見通しが強まりそうです。ECBは、現在の主要政策金利を少なくとも2019年末まで維持する方針を示していることなどから、引き続き緩和的な金融政策方針が維持され、債券市場の需給環境は良好なことが見込まれます。

また、当面のイギリス長期金利は概ねもみ合いの展開を想定します。2019年4月に開催されたEU臨時首脳会議において、イギリスのEU離脱期限を10月末まで延期することで合意し、また、イギリスがEUと将来関係に関する合意なしに離脱に陥るリスクは低下しているものと考えられるものの、先行きの政治リスクに対する不透明感は引き続き残存するものと見込まれます。こうした環境下、イングランド銀行（BOE）は、当面、金融政策を据え置くことが見込まれますが、今後の金融政策はEU離脱交渉の動向に左右されるものと考えます。

為替市場では、ユーロ圏では、景気下振れへの警戒感が残存しており、インフレ圧力が抑制された状況も当面継続するものと見込まれるものの、市場ではすでにECBによる緩和的な金融政策の長期化が相応に織り込まれていると考えられることなどから、ユーロは対円で概ねもみ合う展開が想定されます。また、英ポンドについては、EU離脱交渉の動向などを背景に、対円で概ねもみ合う展開が想定されます。

### 今後の運用方針

#### 国別資産配分

現行の方針を基本に、各国の景気動向や財政状況、政治動向、政策対応などを重視した国・銘柄選別に注力します。

ソブリン債以外では、事業債に関しては取り巻く環境等を勘案し、ウエイトを調整する方針です。

### **デュレーション**

前記の運用環境の見通しに基づき、長期金利への影響が大きい景気その他の諸条件を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。

### **為替取引**

引き続き、今後の為替動向を見極め、機動的にポジションを構築していく方針です。

### **信用格付**

引き続き、投資環境を見極め、信用格付けの高い銘柄を中心に組み入れていく方針です。

2018年11月6日～2019年5月7日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第122期～第124期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	34	0.568	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(21)	(0.352)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(11)	(0.189)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.029	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.023)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	36	0.597	

作成期中の平均基準価額は、6,058円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

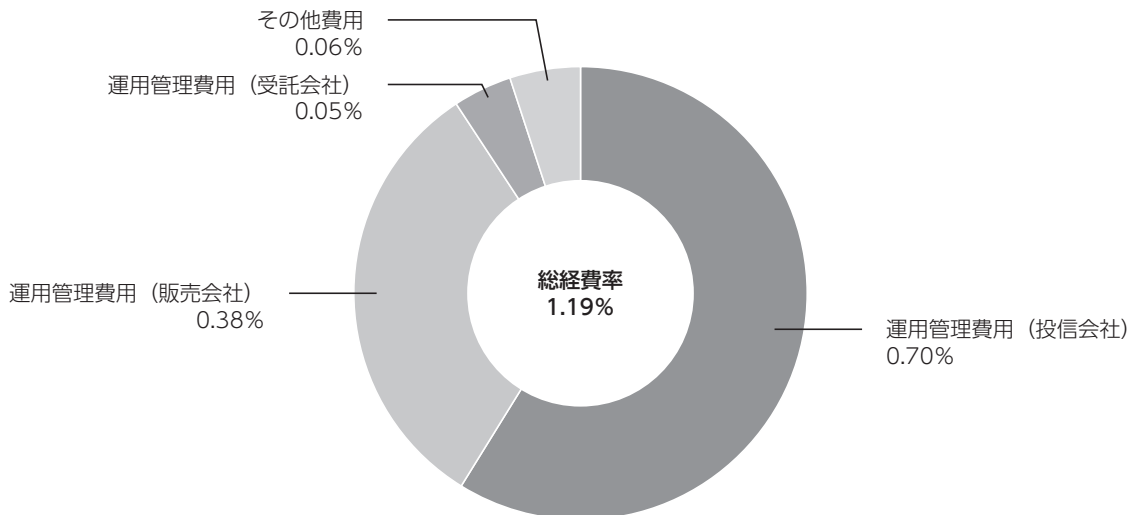
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.19%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年11月6日～2019年5月7日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第122期～第124期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
ユーロ・ソブリン・オープン	マザーファンド	14,566	32,057	45,000	99,881

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年11月6日～2019年5月7日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;ユーロ・ソブリン・オープン&gt;

該当事項はございません。

&lt;ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド&gt;

区 分	第122期～第124期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$		
	百万円	%	百万円	%		
為替先物取引	693	31	4.5	693	32	4.6
為替直物取引	31	—	—	105	3	2.9

平均保有割合 99.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年5月7日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	第121期末	第124期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
ユーロ・ソブリン・オープン	マザーファンド	640,853	610,419	1,357,511



## ○投資信託財産の構成

(2019年5月7日現在)

項 目	第124期末	
	評 価 額	比 率
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド	千円 1,357,511	% 98.8
コール・ローン等、その他	16,852	1.2
投資信託財産総額	1,374,363	100.0

(注) ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (1,348,918千円) の投資信託財産総額 (1,358,744千円) に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.69円	1 ユーロ=123.93円	1 イギリスポンド=145.08円	1 スウェーデンクローネ=11.58円
1 ボーランドズロチ=28.95円			

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第122期末	第123期末	第124期末
	2019年1月7日現在	2019年3月5日現在	2019年5月7日現在
	円	円	円
(A) 資産	1,370,643,092	1,407,979,005	1,374,363,853
コール・ローン等	17,992,263	18,408,801	16,450,853
ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド(評価額)	1,352,271,976	1,389,376,776	1,357,511,994
未収入金	378,853	193,428	401,006
(B) 負債	14,329,622	14,410,372	12,761,512
未払収益分配金	11,544,796	11,504,933	6,829,665
未払解約金	—	438,482	3,213,359
未払信託報酬	2,774,244	2,457,586	2,708,161
未払利息	32	32	29
その他未払費用	10,550	9,339	10,298
(C) 純資産総額(A-B)	1,356,313,470	1,393,568,633	1,361,602,341
元本	2,308,959,235	2,300,986,619	2,276,555,120
次期繰越損益金	△ 952,645,765	△ 907,417,986	△ 914,952,779
(D) 受益権総口数	2,308,959,235口	2,300,986,619口	2,276,555,120口
1万円当たり基準価額(C/D)	5,874円	6,056円	5,981円

## ○損益の状況

項 目	第122期	第123期	第124期
	2018年11月6日～ 2019年1月7日	2019年1月8日～ 2019年3月5日	2019年3月6日～ 2019年5月7日
	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 613	△ 516	△ 611
支払利息	△ 613	△ 516	△ 611
(B) 有価証券売買損益	△ 46,043,482	55,882,253	△ 7,685,347
売買益	28,415	56,282,813	130,577
売買損	△ 46,071,897	△ 400,560	△ 7,815,924
(C) 信託報酬等	△ 2,784,794	△ 2,466,925	△ 2,718,459
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 48,828,889	53,414,812	△ 10,404,417
(E) 前期繰越損益金	△ 249,672,300	△ 307,114,590	△ 260,847,916
(F) 追加信託差損益金	△ 642,599,780	△ 642,213,275	△ 636,870,781
(配当等相当額)	( 84,554,439)	( 84,844,833)	( 84,443,642)
(売買損益相当額)	(△727,154,219)	(△727,058,108)	(△721,314,423)
(G) 計 (D + E + F)	△ 941,100,969	△ 895,913,053	△ 908,123,114
(H) 収益分配金	△ 11,544,796	△ 11,504,933	△ 6,829,665
次期繰越損益金 (G + H)	△ 952,645,765	△ 907,417,986	△ 914,952,779
追加信託差損益金	△ 642,599,780	△ 642,213,275	△ 636,870,781
(配当等相当額)	( 84,565,208)	( 84,854,667)	( 84,452,324)
(売買損益相当額)	(△727,164,988)	(△727,067,942)	(△721,323,105)
分配準備積立金	96,694,240	88,063,873	81,022,391
繰越損益金	△ 406,740,225	△ 353,268,584	△ 359,104,389

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ① 作成期首 (前作成期末) 元本額 2,326,230,604円  
 作成期中追加設定元本額 40,033,354円  
 作成期中一部解約元本額 89,708,838円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.5981円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は914,952,779円です。

## ③ 分配金の計算過程

項 目	2018年11月6日～ 2019年1月7日	2019年1月8日～ 2019年3月5日	2019年3月6日～ 2019年5月7日
費用控除後の配当等収益額	1,816,040円	3,752,402円	1,147,571円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円
収益調整金額	84,565,208円	84,854,667円	84,452,324円
分配準備積立金額	106,422,996円	95,816,404円	86,704,485円
当ファンドの分配対象収益額	192,804,244円	184,423,473円	172,304,380円
1万口当たり収益分配対象額	835円	801円	756円
1万口当たり分配金額	50円	50円	30円
収益分配金金額	11,544,796円	11,504,933円	6,829,665円

## ○分配金のお知らせ

	第122期	第123期	第124期
1万円当たり分配金（税込み）	50円	50円	30円

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

### ◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

### 【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

## ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド

《第183期》決算日2018年12月5日      《第186期》決算日2019年3月5日  
 《第184期》決算日2019年1月7日      《第187期》決算日2019年4月5日  
 《第185期》決算日2019年2月5日      《第188期》決算日2019年5月7日

[計算期間：2018年11月6日～2019年5月7日]

「ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド」は、5月7日に第188期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第183期～第188期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	高水準かつ安定的なインカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	EU加盟国の信用度の高い（A格以上）公社債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は、制限を設けません。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE 欧州世界国債 インデックス (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	円	騰落率 %	騰落率 %	騰落率 %			
159期(2016年12月5日)	20,783	3.5	599.99	4.9	96.6	—	1,692
160期(2017年1月5日)	21,142	1.7	607.19	1.2	97.3	—	1,686
161期(2017年2月6日)	20,665	△2.3	590.63	△2.7	97.1	—	1,646
162期(2017年3月6日)	20,766	0.5	594.55	0.7	96.6	—	1,628
163期(2017年4月5日)	20,511	△1.2	583.39	△1.9	97.5	—	1,605
164期(2017年5月8日)	21,416	4.4	612.50	5.0	97.7	—	1,647
165期(2017年6月5日)	21,671	1.2	617.16	0.8	98.2	—	1,633
166期(2017年7月5日)	22,026	1.6	631.96	2.4	97.9	—	1,635
167期(2017年8月7日)	22,475	2.0	643.31	1.8	97.8	—	1,656
168期(2017年9月5日)	22,571	0.4	645.17	0.3	97.9	—	1,646
169期(2017年10月5日)	22,806	1.0	653.09	1.2	97.7	—	1,667
170期(2017年11月6日)	23,004	0.9	661.53	1.3	97.2	—	1,628
171期(2017年12月5日)	23,281	1.2	669.84	1.3	97.5	—	1,642
172期(2018年1月5日)	23,631	1.5	676.29	1.0	97.8	—	1,642
173期(2018年2月5日)	23,419	△0.9	677.24	0.1	97.4	—	1,628
174期(2018年3月5日)	22,407	△4.3	642.91	△5.1	97.5	—	1,541
175期(2018年4月5日)	22,902	2.2	660.36	2.7	97.7	—	1,575
176期(2018年5月7日)	22,561	△1.5	651.77	△1.3	97.1	—	1,532
177期(2018年6月5日)	22,260	△1.3	639.39	△1.9	97.8	—	1,507
178期(2018年7月5日)	22,389	0.6	644.39	0.8	97.6	—	1,497
179期(2018年8月6日)	22,229	△0.7	639.50	△0.8	97.3	—	1,484
180期(2018年9月5日)	22,279	0.2	637.27	△0.3	97.4	—	1,465
181期(2018年10月5日)	22,460	0.8	643.25	0.9	97.4	—	1,475
182期(2018年11月5日)	22,204	△1.1	636.17	△1.1	96.9	—	1,430
183期(2018年12月5日)	22,147	△0.3	638.22	0.3	97.2	—	1,419
184期(2019年1月7日)	21,474	△3.0	616.55	△3.4	97.2	—	1,352
185期(2019年2月5日)	22,101	2.9	635.99	3.2	97.7	—	1,393
186期(2019年3月5日)	22,366	1.2	641.91	0.9	97.3	—	1,389
187期(2019年4月5日)	22,490	0.6	644.54	0.4	97.4	—	1,385
188期(2019年5月7日)	22,239	△1.1	639.71	△0.7	97.2	—	1,357

(注) FTSE 欧州世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、欧州主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額比率で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		F T S E 欧州世界国債 インデックス (円ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第183期	(期 首) 2018年11月5日	円 22,204	% —	636.17	% —	% 96.9	% —
	11月末	22,259	0.2	638.83	0.4	97.1	—
	(期 末) 2018年12月5日	22,147	△0.3	638.22	0.3	97.2	—
第184期	(期 首) 2018年12月5日	22,147	—	638.22	—	97.2	—
	12月末	22,005	△0.6	631.69	△1.0	97.1	—
	(期 末) 2019年1月7日	21,474	△3.0	616.55	△3.4	97.2	—
第185期	(期 首) 2019年1月7日	21,474	—	616.55	—	97.2	—
	1月末	21,987	2.4	634.38	2.9	97.6	—
	(期 末) 2019年2月5日	22,101	2.9	635.99	3.2	97.7	—
第186期	(期 首) 2019年2月5日	22,101	—	635.99	—	97.7	—
	2月末	22,269	0.8	639.95	0.6	96.4	—
	(期 末) 2019年3月5日	22,366	1.2	641.91	0.9	97.3	—
第187期	(期 首) 2019年3月5日	22,366	—	641.91	—	97.3	—
	3月末	22,442	0.3	642.41	0.1	97.4	—
	(期 末) 2019年4月5日	22,490	0.6	644.54	0.4	97.4	—
第188期	(期 首) 2019年4月5日	22,490	—	644.54	—	97.4	—
	4月末	22,263	△1.0	638.21	△1.0	97.5	—
	(期 末) 2019年5月7日	22,239	△1.1	639.71	△0.7	97.2	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### ●当作成期中の基準価額等の推移について

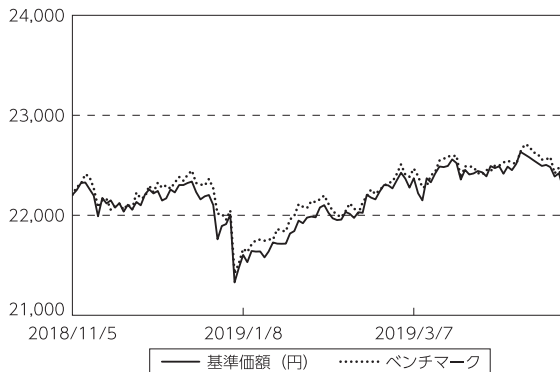
#### ◎基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.2%の上昇となりました。

#### ◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(0.4%)を0.2%下回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは作成期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

### ●投資環境について

#### ◎欧州債券市況

・ドイツやイギリスの長期金利は低下しました。  
ドイツやイギリスの長期金利は、欧州における景気減速懸念や、英国の欧州連合（EU）離脱を巡る不透明感の高まり、株式・原油市況の下落に伴う市場のインフレ期待の低下などを背景に、低下して始まりました。  
その後、2019年1月以降は、欧州中央銀行（ECB）が1月に開催した理事会で、ユーロ圏の経済成長に対するリスクが下向きに移行したとの認識を表明し、また、3月に開催した理事会で、主要政策金利の据え置き期間を従来の「少なくとも2019年夏まで」から「少なくとも2019年

末まで」に修正したことなどを背景に、ドイツやイギリスの長期金利は低下幅を拡大しました。

#### ◎為替市況

・ユーロや英ポンドは対円で下落しました。  
ユーロや英ポンドは、2018年12月に、株式市場の下落などにより投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどをを受けて、対円で下落しました。  
その後、ユーロは、当作成期末にかけて対円で概ねもみ合いで推移し、結果、当作成期を通じてみると、対円で下落して終わりました。一方、英ポンドは、イギリスのEU離脱を巡り、2019年3月末とされていた離脱期限延期への期待感や、EUと将来関係に関する合意なしでの離脱が回避されるとの見方が広がったことなどを背景に、対円で上昇する局面もあったものの、当作成期を通じてみると対円で下落して終わりました。

#### ●当該投資信託のポートフォリオについて

・EU加盟国の国債・政府保証債、事業債等、信用度の高い公社債（A格以上）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。

#### ◎国別資産配分

・作成期を通じて、相対的に高い金利水準にあるポーランドや、ファンダメンタルズが堅調なスペインなどをベンチマーク比オーバーウェイトで維持した一方、ドイツなどを同アンダーウェイトで維持しました。

#### ◎デュレーション（金利感応度）

・ファンド全体のデュレーションは、作成期を通じてベンチマーク比中立としました。

##### ※デュレーション

「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

## ◎為替取引

- ・作成期首は、景気の底堅い推移が見込まれることなどから、4.1%程度のユーロ及び0.7%程度のノルウェークローネ買い、EU離脱を巡る不透明感などから1.0%程度の英ポンド売り、3.9%程度のポーランドズロチ売りとなりました。
- ・作成期末は、良好な景気・インフレ動向等を背景とした1.5%程度のノルウェークローネ買いのほか、1.2%程度のユーロ及び0.5%程度の英ポンド買いとした一方、3.2%程度のポーランドズロチ売りとなりました。

## ◎信用格付

- ・信用度の高いA格以上の公社債を主要投資対象としています。
- ・前記の運用を行った結果、ユーロや英ポンドが対円で下落したことなどがマイナスに影響したものの、ドイツやイギリスなどの金利が低下したことや、債券の利子収入を享受したことなどがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

## ●当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・基準価額は当作成期首に比べ、0.2%の上昇となり、ベンチマークであるFTSE欧州世界国債インデックス(円ベース)の騰落率(0.4%)を0.2%下回りました。
- ・作成期を通じてみると、スペイン国債のドイツ国債に対する金利スプレッド(利回り格差)が縮小したなか、作成期を通じてスペインをベンチマーク比オーバーウェイトとしたことなどがプラスに寄与しました。
- ・作成期を通じてみると、イタリア国債のドイツ国債に対する金利スプレッドが縮小したなか、作成期を通じてイタリアを非保有としたことなどがマイナスに影響しました。

## ○今後の運用方針

## ◎運用環境の見通し

- ・当面の欧州長期金利は、低位で推移する展開が想定されます。ユーロ圏経済は、製造業を中心に低調な状況が継続しており、グローバルな景気減速懸念等も重石となり、域内経済見通しの下方修正懸念や、インフレ圧力の抑制された状況が継続する見通しが強まりそうです。ECBは、現在の主要政策金利を少なくとも2019年末まで維持する方針を示していることなどから、引き続き緩和的な金融政策方針が維持され、債券市場の需給環境は良好なことが見込まれます。また、当面のイギリス長期金利は概ねもみ合いの展開を想定します。2019年4月に開催されたEU臨時首脳会議において、イギリスのEU離脱期限を10月末まで延期することで合意し、また、イギリスがEUと将来関係に関する合意なしに離脱に陥るリスクは低下しているものと考えられるものの、先行きの政治リスクに対する不透明感は引き続き残存するものと見込まれます。こうした環境下、イングランド銀行(BOE)は、当面、金融政策を据え置くことが見込まれますが、今後の金融政策はEU離脱交渉の動向に左右されるものと考えます。
- ・為替市場では、ユーロ圏では、景気下振れへの警戒感が残存しており、インフレ圧力が抑制された状況も当面継続するものと見込まれるものの、市場ではすでにECBによる緩和的な金融政策の長期化が相応に織り込まれていると考えられることなどから、ユーロは対円で概ねもみ合う展開が想定されます。また、英ポンドについては、EU離脱交渉の動向などを背景に、対円で概ねもみ合う展開が想定されます。



◎今後の運用方針

国別資産配分

- ・ 現行の方針を基本に、各国の景気動向や財政状況、政治動向、政策対応などを重視した国・銘柄選別に注力します。
- ・ ソブリン債以外では、事業債に関しては取り巻く環境等を勘案し、ウェイトを調整する方針です。

デュレーション

- ・ 前記の運用環境の見通しに基づき、長期金利への影響が大きい景気その他の諸条件を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。

為替取引

- ・ 引き続き、今後の為替動向を見極め、機動的にポジションを構築していく方針です。

信用格付

- ・ 引き続き、投資環境を見極め、信用格付けの高い銘柄を中心に組み入れていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年11月6日～2019年5月7日)

項 目	第183期～第188期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
( 保 管 費 用 )	6	0.027	
( そ の 他 )	(5)	(0.023)	
	(1)	(0.004)	
合 計	6	0.027	
作成期中の平均基準価額は、22,170円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2018年11月6日～2019年5月7日)

公社債

			第183期～第188期		
			買 付 額	売 付 額	
外	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ	
	ドイツ	国債証券	656	929	
	フランス	国債証券	1,340	1,110	
	オランダ	国債証券	376	273	
		社債券	—	337	
	スペイン	国債証券	1,561	1,611	
	ベルギー	国債証券	251	223	
	国際機関	特殊債券	835	920	
	国	イギリス	国債証券	千イギリスポンド 80	千イギリスポンド 80
		スウェーデン	国債証券	千スウェーデンクローネ 834	千スウェーデンクローネ 1,021
ポーランド		国債証券	千ポーランドズロチ 2,161	千ポーランドズロチ 2,065	
		特殊債券	—	321	

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月6日～2019年5月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	第183期～第188期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	693	31	4.5	693	32	4.6
為替直物取引	31	—	—	105	3	2.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2019年5月7日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第188期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	980	1,189	147,419	10.9	—	5.7	3.7	1.5
フランス	2,650	2,868	355,547	26.2	—	15.6	7.8	2.8
オランダ	200	207	25,729	1.9	—	1.9	—	—
スペイン	2,360	2,525	312,986	23.1	—	13.9	8.7	0.5
ベルギー	470	487	60,384	4.4	—	3.2	1.2	—
アイルランド	200	211	26,179	1.9	—	1.9	—	—
国際機関	1,000	1,078	133,718	9.9	—	5.8	4.0	—
イギリス	千イギリスポンド	千イギリスポンド						
	925	1,294	187,759	13.8	—	12.8	1.1	—
スウェーデン	千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ						
	700	780	9,043	0.7	—	0.7	—	—
ポーランド	千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ						
	2,080	2,116	61,283	4.5	—	0.1	0.5	4.0
合 計	—	—	1,320,053	97.2	—	61.7	26.9	8.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第188期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	0 SCHATS 190913	—	160	160	19,868	2019/9/13
		0.5 BUND 250215	0.5	50	52	6,514	2025/2/15
		0.5 BUND 280215	0.5	50	52	6,525	2028/2/15
		1.75 BUND 240215	1.75	200	221	27,434	2024/2/15
		2.25 BUND 210904	2.25	170	181	22,476	2021/9/4
		2.5 BUND 460815	2.5	310	455	56,502	2046/8/15
		5.5 BUND 310104	5.5	40	65	8,097	2031/1/4
フランス	国債証券	0 O. A. T 210525	—	390	394	48,870	2021/5/25
		0.75 O. A. T 280525	0.75	310	324	40,171	2028/5/25
		1.25 O. A. T 340525	1.25	330	352	43,685	2034/5/25
		1.75 O. A. T 241125	1.75	500	554	68,711	2024/11/25
		1.75 O. A. T 390625	1.75	180	203	25,231	2039/6/25
		2 O. A. T 480525	2.0	240	278	34,492	2048/5/25
		3 O. A. T 220425	3.0	100	110	13,680	2022/4/25
		普通社債券	1.375 GDF SUEZ 200519	1.375	300	304	37,791
	4.25 BPCE SA 230206	4.25	300	346	42,912	2023/2/6	
	オランダ	国債証券	0.25 NETH GOVT 250715	0.25	100	102	12,764
0.5 NETH GOVT 260715			0.5	100	104	12,965	2026/7/15
スペイン	国債証券	0.35 SPAIN GOVT 230730	0.35	620	630	78,118	2023/7/30
		0.75 SPAIN GOVT 210730	0.75	310	317	39,326	2021/7/30
		1.3 SPAIN GOVT 261031	1.3	240	252	31,332	2026/10/31
		1.45 SPAIN GOVT 290430	1.45	240	250	31,066	2029/4/30
		1.95 SPAIN GOVT 300730	1.95	270	293	36,390	2030/7/30
		2.75 SPAIN GOVT 241031	2.75	290	330	41,001	2024/10/31
		2.9 SPAIN GOVT 461031	2.9	340	398	49,414	2046/10/31
4.3 SPAIN GOVT 191031	4.3	50	51	6,336	2019/10/31		
ベルギー	国債証券	0.2 BEL GOVT 231022	0.2	130	132	16,460	2023/10/22
		0.8 BEL GOVT 280622	0.8	60	62	7,749	2028/6/22
		1.6 BEL GOVT 470622	1.6	280	291	36,174	2047/6/22
アイルランド	国債証券	0.9 IRISH GOVT 280515	0.9	150	156	19,430	2028/5/15
		1.7 IRISH GOVT 370515	1.7	50	54	6,748	2037/5/15
国際機関	特殊債券	0.95 EFSF 280214	0.95	600	635	78,747	2028/2/14
		2.125 EFSF 240219	2.125	400	443	54,970	2024/2/19
小	計					1,061,966	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	0.75 GILT 230722	0.75	100	99	14,425	2023/7/22
		1.625 GILT 281022	1.625	70	72	10,524	2028/10/22
		4.25 GILT 461207	4.25	455	705	102,332	2046/12/7
特殊債券	6 EIB 281207	6.0	300	416	60,477	2028/12/7	
小	計					187,759	
スウェーデン				千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ		
	国債証券	0.75 SWD GOVT 280512	0.75	600	631	7,308	2028/5/12
3.5 SWD GOVT 390330		3.5	100	149	1,734	2039/3/30	
小	計					9,043	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	2 POLAND 210425	2.0	930	936	27,117	2021/4/25

銘柄	柄	第188期末				
		利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ポーランド		%	千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ	千円	
	国債証券	2.75 POLAND 280425	50	49	1,427	2028/4/25
		5.5 POLAND 191025	900	917	26,565	2019/10/25
	特殊債券	4.25 EIB 221025	200	213	6,172	2022/10/25
小	計				61,283	
合	計				1,320,053	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2019年5月7日現在)

項目	第188期末	
	評価額	比率
公社債	千円 1,320,053	% 97.2
コール・ローン等、その他	38,691	2.8
投資信託財産総額	1,358,744	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産 (1,348,918千円) の投資信託財産総額 (1,358,744千円) に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.69円	1 ユーロ=123.93円	1 イギリスポンド=145.08円	1 スウェーデンクローネ=11.58円
1 ポーランドズロチ=28.95円			

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第183期末	第184期末	第185期末	第186期末	第187期末	第188期末
	2018年12月5日現在	2019年1月7日現在	2019年2月5日現在	2019年3月5日現在	2019年4月5日現在	2019年5月7日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,582,850,016	1,438,270,677	1,540,950,722	1,521,915,997	1,466,350,240	1,446,640,924
コール・ローン等	27,848,017	28,609,768	21,269,550	28,895,118	26,319,912	27,109,957
公社債(評価額)	1,380,716,021	1,314,736,962	1,361,966,368	1,352,021,941	1,349,967,271	1,320,053,140
未収入金	161,370,358	84,986,148	146,174,775	132,026,408	79,515,566	88,383,807
未收利息	10,015,220	7,462,986	9,394,188	6,827,830	7,688,168	8,734,007
前払費用	2,887,110	2,461,955	2,132,778	2,131,531	2,846,301	2,347,147
差入委託証拠金	13,290	12,858	13,063	13,169	13,022	12,866
(B) 負債	162,902,765	86,015,946	147,591,737	132,554,360	80,740,479	89,127,582
未払金	160,908,184	85,637,076	144,931,441	132,360,918	79,545,418	88,726,560
未払解約金	1,994,568	378,853	2,660,291	193,428	1,195,052	401,006
未払利息	13	17	5	14	9	16
(C) 純資産総額(A-B)	1,419,947,251	1,352,254,731	1,393,358,985	1,389,361,637	1,385,609,761	1,357,513,342
元本	641,155,212	629,725,238	630,448,752	621,200,383	616,100,058	610,419,531
次期繰越損益金	778,792,039	722,529,493	762,910,233	768,161,254	769,509,703	747,093,811
(D) 受益権総口数	641,155,212口	629,725,238口	630,448,752口	621,200,383口	616,100,058口	610,419,531口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,147円	21,474円	22,101円	22,366円	22,490円	22,239円

○損益の状況

項 目	第183期	第184期	第185期	第186期	第187期	第188期
	2018年11月6日～ 2018年12月5日	2018年12月6日～ 2019年1月7日	2019年1月8日～ 2019年2月5日	2019年2月6日～ 2019年3月5日	2019年3月6日～ 2019年4月5日	2019年4月6日～ 2019年5月7日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	2,254,789	2,323,927	2,009,923	1,939,943	1,973,118	1,916,325
受取利息	2,263,048	2,324,923	2,010,227	1,940,424	1,980,046	1,924,087
支払利息	△ 8,259	△ 996	△ 304	△ 481	△ 6,928	△ 7,762
(B) 有価証券売買損益	△ 5,934,415	△ 44,726,458	37,728,959	14,660,855	5,653,109	△ 17,126,608
売買益	12,118,486	6,903,674	42,628,361	18,568,391	22,653,144	3,548,965
売買損	△ 18,052,901	△ 51,630,132	△ 4,899,402	△ 3,907,536	△ 17,000,035	△ 20,675,573
(C) 保管費用等	△ 33,246	△ 66,439	△ 62,659	△ 55,039	△ 27,209	△ 132,736
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 3,712,872	△ 42,468,970	39,676,223	16,545,759	7,599,018	△ 15,343,019
(E) 前期繰越損益金	786,247,486	778,792,039	722,529,493	762,910,233	768,161,254	769,509,703
(F) 追加信託差損益金	4,404,352	1,341,945	4,223,508	1,151,675	4,326,112	2,043,989
(G) 解約差損益金	△ 8,146,927	△ 15,135,521	△ 3,518,991	△ 12,446,413	△ 10,576,681	△ 9,116,862
(H) 計(D+E+F+G)	778,792,039	722,529,493	762,910,233	768,161,254	769,509,703	747,093,811
次期繰越損益金(H)	778,792,039	722,529,493	762,910,233	768,161,254	769,509,703	747,093,811

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 644,229,940円  
 作成期中追加設定元本額 14,566,265円  
 作成期中一部解約元本額 48,376,674円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末2,2239円です。
- ② 作成期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）  
 ユーロ・ソブリン・オープン 610,419,531円